

# 福西レンジャーの巻 琵琶湖河川レンジャー レポート

## 地域住民と釣り人をつなぐ清掃活動 〜安心・安楽な瀬田川をめざして〜

1月21日(土) 福西河川レンジャーが瀬田川にて「第1回 地域住民と釣り人をつなぐ清掃活動」を実施しました。この活動は、琵琶湖や瀬田川で釣りをしてる釣り人が日ごろの感謝を込めて地域の方と瀬田川の河岸の清掃活動をするというもので、今回が記念すべき第1回目でした。

【福西河川レンジャーより】

今回、瀬田川東岸エリアの清掃活動をさせていただきます。普段から瀬田川東岸は西岸に比べて人通りが少ない傾向がありますが、生活ゴミや漂流ゴミは多いためスポットを当てました。瀬田川の地域住民で普段から清掃活動をされており、河川愛護モニターでもある永田氏の協力も得て開催する事が出来ました。普段からの河川レンジャー活動での経験や地域住民のアドバイスを参考にしたことにより、清掃エリアの選定や清掃活動後のゴミの収集場所、清掃回収業者との連携などスムーズに話が進行しました。

当日は、地域住民や活動団体、釣り人ら30名に参加いただき、開会式後にウォーターステーション琵琶からスタートし、北上しながら京滋バイパス付近までのおよそ3キロ区間を清掃しました。水辺での活動という事もあり、安全面を最大に考慮し参加者全員にライフジャケットを着用していただきました。活動中は、瀬田川利用の方々から挨拶や清掃活動に対するお礼の言葉などを掛けていただきました。参加いただいた釣り人は、普段から釣り場の清掃活動



拾ったゴミの分別作業



瀬田川東岸での清掃活動

をしている方が多いため、分別作業も短時間で終了する事が出来ました。成果としては、可燃ごみ8袋、ペットボトル90本、缶60個、ビン14本、その他不燃物1袋分が集まりました。今回の開催にあたり、地域活動団体様や地域住民の方々、釣り人をつなぐことができた実感しております。今後も年間に2回、開催していきますので参加の方よろしくお願い致します。



1月21日(土) 瀬田川東岸(左岸)京滋バイパス橋梁下にて

河川レンジャー  
活動支援室  
2023年3月発行  
VOL. 49



福西レンジャー

福西河川レンジャーのTwitterです。  
フォローを是非お願いします。  
[https://twitter.com/ranger\\_fuku](https://twitter.com/ranger_fuku)

### 活動拠点 (問い合わせ先)

水のめぐみ館 ウォーターステーション琵琶内 河川レンジャー活動支援室  
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-2-2 TEL077-536-3520 FAX077-536-3530  
E-mail: r-manager@water-station.jp URL: <http://www.water-station.jp/ranger>  
FB: <http://www.facebook.com/BiwakoRanger>

### フェイスブックで活動を広報しています!

琵琶湖河川レンジャーFacebookページ  
<https://www.facebook.com/BiwakoRanger/>

# 野洲川の幼木伐採活動の協力 (開催報告)



2月4日(土) 根木山河川レンジャーが野洲川中洲親水公園あめんぼうの河川敷にて住民グループ「なかす野洲川たんけん隊」の幼木伐採活動を支援しました。活動は、公園から一段降りた河川敷にて行われました。内容は、川での体験活動の材料となる枯れヨシや幼木を集めるというもので、子どもたちは、のこぎりを使うという貴重な体験ができました。真冬の寒い時期の河原でしたが、昨年の活動で集めて乾燥させておいた幼木材を燃料にした時計ストーブで暖をとりながら、みんなが持ち寄ったおイモなどを焼いたりし、暖を囲みながら楽しいひと時を過ごしました。少し雪が残る河川敷で、この時期ならではの川の風景を感じる機会となりました。



【根木山河川レンジャーより】  
河川内の樹木は伐採した後、放置しておくとな数年で再繁茂してきます。樹木が繁茂すると、川の流れが悪くなり川が溢れて水害の原因になります。その対策として樹木が小さい内に除去することが大切です。  
この活動は昨年度から実施し、今年度は、昨年11月から4回実施しました。「来年は枯れたヨシを束ねてヨシ船を作りたい!」という声が上がっています。

# 瀬田川・琵琶湖の外来水草問題を学ぼうの実施 (開催報告)



2月20日(月)ウオーターステーション琵琶湖において、川と人をつなぐ活動への興味を醸成することを目的に、瀬田川・琵琶湖における外来水草問題をテーマとする「座学」と「参加者によるグループワーク」を行いました。

座学では、田中周平先生(京都大学准教授)に、オオバナミズキンバイの近年の生態的特徴、効果的な駆除方法及び有効活用などを講演していただきました。

グループワークでは、「外来水草問題の解決に向けた地域での活動」をテーマとして、参加者同士のアイデアの出し合いを行いました。また、グループワークのヒントになるよう、琵琶湖河川レンジャーの水上さんより、住民活動における「川と人をつなぐ」ことの意義や活動事例を話していただきました。

グループワークを実施した結果、「外来水草を更に知るための現地調査を住民活動として企画したい」という意見が多く見られました。また、「川と人をつなぐ」というキーワードに対して、自治会や農業を産業としている方などを巻き込むといった住民目線のアイデアが多く見られました。

参加者からは、今回のイベント参加をきっかけに、「自分が所属しているレイカディア大学の地域体験学習(ボランティア)の一環で外来水草の駆除活動を実施しようと思う」とか「自ら外来水草の駆除に関する活動を企画したいと思った」などの感想をいただきました。



琵琶湖河川レンジャー&レンジャートライアル募集中

QRコードからアクセスしてみてください

